令和３年度　９月号　　清瀬市立清瀬中学校　令和３年８月３１日

清中だより

手をつなぎ　心をつむぐ　みどりの清瀬

【電話】042-493-6311　　【所在地】〒204-0003 東京都清瀬市中里 5-624

2学期の行事について

校長　小池　雄志郎

夏休みが終わり、２学期が始まりました。この夏休み、皆様はどのようにお過ごしだったでしょうか。東京２０２０大会における選手の活躍は大変感動的でした。反面、新型コロナウイルスの感染拡大は、相変わらず先が見えません。

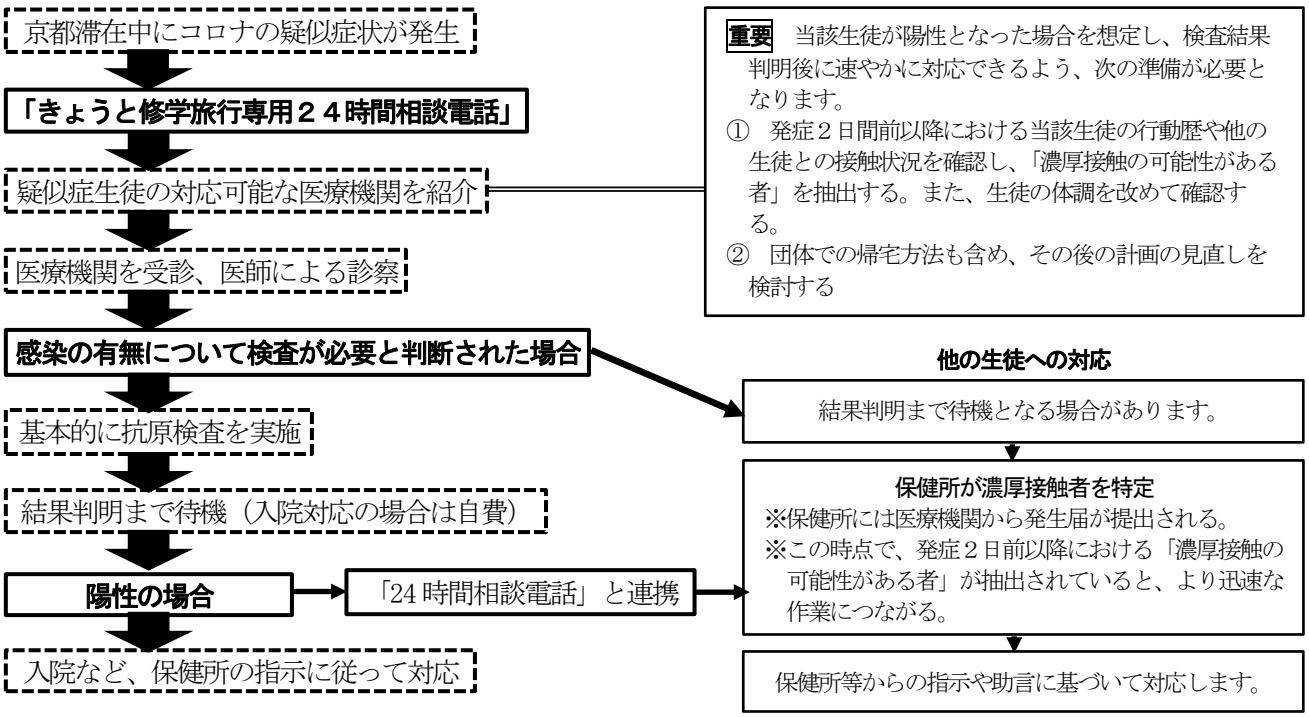
本校では１学期に学級・学年閉鎖等を行うことはありませんでした。これは、生徒の皆さんはもちろん、すべてのご家庭の皆様が率先して感染拡大防止にご尽力いただいたことによるものと感謝しております。しかし、昨今の新型コロナウイルスへの感染は、どんなに注意を払っていても１００％防ぐことは難しいようです。となると、どうしても中止や延期、休校や閉鎖といったほうに目が行きがちです。けれども、今日という日が二度とやってこないように、中学生のこの時期に学んでおきたいこと、体験しておきたいことは様々あります。状況をよく見ながら、積極的に感染拡大防止の手立てを講じつつ、学習活動を展開していくことも重要な視点であると感じています。

学校といたしましては、当面の大きな学校行事である「修学旅行」と「音楽祭」の実施について、下記のとおり進めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

◇　３年生「修学旅行」（９月１４日・火～１６日・木）について

清瀬市教育委員会では、２学期以降宿泊行事について、これまでどおり「原則、実施する」という判断です。これを受け、本校は市のガイドラインに基づいて修学旅行を予定どおり実施いたします。

実施に当たりましては、生徒の皆さん、保護者の皆様にはこれまで以上に綿密な健康管理をお願いいたします。しかし、やはり心配されることは、出発後にコロナと疑われる症状が発生した場合でありましょう。そのような場合の対応フローは次のようになっています（旅行取扱業者資料から抜粋、一部再構成）。



＜裏面へ＞

「きょうと修学旅行専用２４時間相談電話」とは、京都市産業観光局が開設した窓口です。抗原検査の結果判明までは、原則として宿泊中の宿泊施設または京都市の設置する待機場所となりますが、それが最終日の場合は、引率教員は抗原検査対応と帰京する生徒の対応を同時に行わなければなりません。また状況によっては、必ずしも上記の対応フローの通り進むとも限りません。コロナ対応に限ったことではありませんが、修学旅行期間中の３日間は、保護者のかたには必ず連絡が取れるようにしていただくとともに、保護者のかたに現地に来ていただくこともあり得るということをご承知ください。

◇　全校「音楽祭」（１０月５日・火）について

今年度の音楽祭は、所沢ミューズ（所沢市民文化センター）の大ホールを使用して行う予定です。昨年度は、会場運営者から貸出を中止するとの連絡があり、校内で実施しました。その意味では今年度もどうなるか予断を許さない状況は続いております。場合によっては、昨年度と同様に急遽、校内で実施ということもあり得ます。そのような複雑な状況もあり、誠に残念ながら運動会と同様、「無観客」で実施することといたします。

＜プログラム＞	
午前の部	午後の部
①簡易的な開会式	⑥簡易的な開会式
②１年生の部	⑦部活動の部 （箏曲部・吹奏楽部・英語部）
③２年生の部	
④３年生の部	
⑤簡易的な閉会式	⑧簡易的な閉会式

また、実施形態としては、昨年度と同様に学年ごとの形となります。会場までの往復は一昨年までと同様班行動とします。ただし学年や学級によって入場時間に時間差を設ける予定です。会場内においては「密」を避けるため、学年合唱は行いません。座席につきましても、複数の生徒が一つの座席を共有しないように座席割りを行います。

当日についてはこのように考えているのですが、問題は練習をどのように進めていくかです。状況を見極めながら、慎重に進めてまいりたいと考えております。

繰り返し申し上げますが、昨今の新型コロナウイルスへの感染は、どんなに注意を払っていても１００％防ぐことは難しいようです。ということは、いつだれが陽性と判定されてもおかしくないということです。もしかしたら修学旅行や音楽祭の直前になってそのようなことがあるかも知れません。ここで大事なことは、「誰かがコロナにかかったから何かができなくなった」などとマイナスにとらえないでほしいということです。私は以前、日本人のマスク着用の習慣は１００年前に世界中で流行した「スペイン風邪」にさかのぼるという話をしました。今、社会はコロナ禍をどうとらえ、どう克服しようとしているのか――私たちは、特にこれからを生きる若い世代はこういったことを目の当たりにし、見極めていかなければならない――であれば「コロナ禍から何を学ぼうか」とプラス思考でとらえることも大切なことだと思うのです。

学校は、教育を止めないように万全を尽くします。それでも、今後、友達が罹患することもあるかもしれませんし、ご自身が罹患することもあるかもしれません。ご家族が感染することもあるかもしれませんし、かくいう教職員が感染するかもしれません。しかし、学校は、互いに学び合い、支え合う場所です。そこのことだけは忘れてはならないと考えています。

◆◆　学校の様子から　◆◆

◇　始業式、終業式は分散実施

写真は１学期の終業式の模様です。１学期の終業式は各教室で行いました。２学期の始業式も同様に実施しました。

◇　東京２０２０大会聖火リレー・清瀬市代表、母校を訪問

７月１９日（月）、東京２０２０オリンピック競技大会・聖火ランナーの清瀬市代表で、本校卒業生の遠藤りろさんが母校を訪問してくださいました。私校長も聖火のトーチを持たせていただいたのですが、見かけよりも軽くて持ちやすく、かといって、ずっしりとした重量感といいますか、存在感のある不思議な趣がありました。遠藤さん、一年待ちましたが、聖火ランナーとしてのご活躍、おめでとうございました。そして、ご来校いただきありがとうございました。